

平25年度 東三河地域産業人材育成事業（概要版）

【事業概要】

- 東三河地域における産業人材の育成として「地域資源を活用した起業支援」、「長期的インターンシップ」を対象とした活動を実施
- 「地域資源を活用した起業支援」は、主に東三河地域の地域資源に着目し、6次産業化等を含めた新事業創出や起業等を促すため、個人・農家・法人を対象として地域資源の栽培・生産から流通・加工・販売に至る一連の流れの枠組みや経営方法等を5つのコースに分けて実施。また、関係機関、支援機関等を含めた人的ネットワーク形成を促し、「食農産業クラスター推進協議会」、東三河広域経済連合会等と連携して実施。
- 「長期的インターンシップ」は、東三河地域の4大学（豊橋技術科学大学、愛知大学、豊橋創造大学、愛知工科大学）のキャリアセンターと連携・協力して参加学生を募集し、インターンシップ受入企業は東三河広域経済連合会、東三河産業創出協議会等と連携し、インターンシップ受入実績や東三河優良企業就職情報等を活用し、個別訪問等で発掘。インターンシップ人材育成の目的として「実社会や職業との繋がりを理解できる人材」、「論理的思考や課題解決能力を身につけた人材」の育成を掲げ、前者は東三河地域の学生が地域企業を知ってもらう機会（1日研修）や地域企業による職業体験（実地研修）を実施し、後者では地域の企業経営者等と学生によるワークショップ研修を行う等、独自プログラムを構築。
- 東三河地域の次世代を担う高校生、大学生による地域活性化意見交換会の実施 等

【主な事業協力要請機関】

- (経済団体) ・東三河広域経済連合会、東三河産業創出協議会等
- (地域金融機関) ・豊橋信用金庫、蒲郡信用金庫、岡崎信用金庫等
- (大学) ・豊橋技術科学大学 総務課地域連携係・学生課、愛知大学 豊橋キャリア支援課、豊橋創造大学 渉外部キャリアセンター・教務課、愛知工科大学 キャリア支援課等
- (地方自治体) ・東三河地域の8市町村、愛知県

【キックオフセミナーの実施】

開催日時：平成25年8月24日 会場：名豊ビル8階 コミュニティーホール
 講演1「地域再生戦略と人材育成・起業～自分の地域を若者と自分たちで創る～」(株)うちうら 内浦有美氏
 ・人材育成に重要な「情動の喚起」、地域が人材を育む環境をつくること
 講演2「地方発「お茶系インターンシップ」の取組」NPO法人 G-net 秋元祥治氏
 ・インターンシップは地域産業を元気にするプログラム、知識もノウハウもない学生が企業を変えられる



【地域資源を活用した起業支援】

◆社会起業家育成講座

- 目的 社会的起業を対象とし、求められる背景や事業継続性確保のための地域社会との関わりを持つ経営計画の研修。
- 実施概要 6回の座学・グループワークを平成25年9月25日～12月4日の期間で実施。
- テーマ ①社会起業とは、②社会起業の課題～テーマの整理～、③社会起業プログラムのコンセプトづくり、④社会起業における組織と設立、⑤社会起業とキャッシュフロー経営、⑥社会起業プログラムの作成と発表



◆ベンチャー育成講座

- 目的 東三河地域の地域資源を活用し、事業化アイデアやビジネスモデルを起業に発展させるための手段・方法・ノウハウの研修。
- 実施概要 6回の座学・演習等を平成25年10月1日～12月10日の期間で実施。
- テーマ ①成功する経営者の資質及び長寿企業の条件、②金融機関が支援できる経営者及び事業計画、③財務管理知識の習得、④経営戦略知識の習得、⑤ベンチャー企業の事例、⑥事業計画の策定及び発表



◆農起業支援講座

- 目的 農業の流れ（定植・収穫・出荷・販売等）を基本とした座学・実習を行い、農業ビジネスを考える契機とした研修。
- 実施概要 3回の座学、5回の実習を平成25年8月31日～10月6日の期間で実施。
- テーマ ①農業を始めるには、②販売・流通の仕組み、③これから求められる農業経営像、④農業実習トマト栽培、⑤農業実習米栽培、⑥農業実習大葉栽培、⑦農業実習イチゴ栽培、⑧販売実習及びディスプレイ



◆6次産業化育成講座

- 目的 6次産業化による起業やその可能性を付加価値化や用途開発、販売方法等から研修。
- 実施概要 6回の座学・グループワーク等を行い、平成25年11月7日～平成26年1月23日の期間で実施。
- テーマ ①6次産業化とは（ビジネスモデル）、②事例見学：杉田組、③資源発掘（仕様書の書き方）、④マーケティングの基礎（実習）、⑤加工の方法（ホスピタリティ）、⑥販売の方法（事業計画書作成）



◆女性起業家育成講座

- 目的 女性目線によるビジネス発掘や女性ならではの地域資源の活用・用途開発等を研修。
- 実施概要 5回の座学・演習等を平成25年10月12日～12月14日の期間で実施。
- テーマ ①女性起業家の基礎知識、②女性起業家の先輩に学ぶ1、③女性起業家の先輩に学ぶ2、④起業家支援策と事業計画作成、⑤事業計画発表



【参加者数等】

業活地域支援した源起を	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	延べ参加者数
社会起業家育成講座	15	15	14	11	14	14	-	-	83
ベンチャー育成講座	18	16	17	17	12	14	-	-	94
農起業支援講座	17	16	18	13	3	3	6	6	82
6次産業化育成講座	27	23	24	24	21	24	-	-	143
女性起業家育成講座	12	10	11	7	11	-	-	-	51
									合計 453

講座の1回当たりの参加者数は14名以上で、特に6次産業化育成講座の応募者が多く、関心が高い。
 グループワークの導入により、地域課題の認識や自らの問題意識を明確にできたが、反面数値的経営分析が不十分でビジネスのアイデアから事業計画に展開されていない。

第1回プログラム	実施日	参加者数	受入企業数	協力企業数	備考
1日研修	8月29日	10	3	3	3
実地研修	8月30日	8	4	4	4
ワークショップ研修	9月2日～12日	13	11	12	11
	9月13日～15日	40*	5	5	5
				計	23

第1回、2回のプログラムは、40社の地域企業の協力を得て実施し、参加学生から地域や地域産業への関心が高まり、企業の現場体験や経営者の話は非常に参考になったとの意見が多く、今後のインターンシッププログラムへの参加意欲も高い。
 ・但し、郊外の工場等への実地研修では移動手段の課題やものづくりのプログラムのあり方が課題として出された。

第2回プログラム	日時	参加者数	受入企業数	協力企業数	備考
オリエンテーション	1月31日、2月1日	18	-	-	-
1日研修	2月3日	16	3	3	3
実地研修	2月19日	12	4	4	4
ワークショップ研修	2月4日～18日	15	10	16	7
	2月22日	10	3	3	3
				計	17

注：*は延べ参加者数、備考は重複分を除いた協力企業数（全体で40社）

【東三河地域活性化意見交換会の実施】

◆ミライカフェほの国2014高校生による東三河地域活性化意見交換会

- 開催日時：平成26年2月8日 会場：愛知県立豊橋工業高等学校会議室
- 参加者：豊橋工業高校生5名、豊橋商業高校生4名、渥美農業高校生5名 以上14名、コーディネーター：(株)うちうら 内浦有美氏
- 豊橋工業高校「風で飛ばされない紙皿：エロテック」、豊橋商業高校「農業と市電で活性化」、渥美農業高校「お茶の可能性を探る～四番茶利用への挑戦～」のビジネスプラン発表と意見交換の実施。



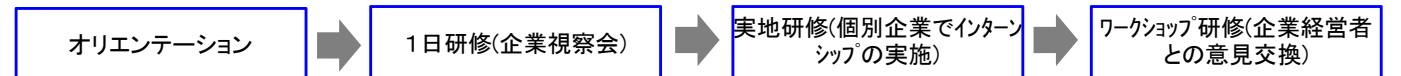
◆ミライカフェほの国2014大学生による東三河地域活性化意見交換会

- 開催日時：平成26年2月22日 会場：名豊ビル新館4階 4A会議室
- 参加者：愛知工科大学8名、豊橋創造大学3名、愛知大学2名、豊橋技術科学大学1名 以上14名
- コーディネーター：地域ビジネス研究所 中野和久氏、アドバイザー：豊橋創造大学 准教授 花岡 幹明氏
- 豊橋創造大学 辻井 友絵さんのビジネスプラン「職人早期育成プログラムサビシCSS～Carpenter Staff Service～」の発表に対する意見交換を行うとともに、参加者が新しいビジネスの提案を実施。



【長期的インターンシップ】

◆インターンシッププログラムの特徴



◆実施時期 第1回プログラム 平成25年8月29日～9月15日 第2回プログラム 平成26年1月31日～2月22日

◆1日研修

- 8月29日 豊橋木工製作所→日本ジュースミナル(株)→豊橋鉄道(株)グループ
- 8月30日 (株)平松食品/丸丸上製作所→新東工業(株)→武蔵精密工業(株)
- 2月3日 オースジ(株)→有楽製菓(株)→日東電工(株)
- 2月19日 中部セキスイハイム工業(株)→(株)AihO→天狗缶詰(株)→(株)イクム



◆実地研修

- 第1回プログラム(9月2日～12日) 参加学生数13名 受入募集企業12社 インターンシップ実施企業11社
- ※実施企業：(株)旭精機、医療法人明陽会、豊橋鉄道グループ、(株)サロコレーション、NPO法人穂の国森づくりの会、イググループ、(株)システムクリエイト、(株)ほの国百貨店、宇都宮工業(株)、(株)曙製作所、シフォニアテクノロジー(株)
- 第2回プログラム(2月4日～18日) 参加学生数15名 受入募集企業16社 インターンシップ実施企業10社
- ※実施企業：NPO法人穂の国森づくりの会、有楽製菓(株)、(株)ミカエッジ・エアリング、(株)イクム、福井ファイバートック(株)、(株)ほの国百貨店、アイワスチール(株)、中部セキスイハイム工業(株)、千代田電子工業(株)、シフォニアテクノロジー(株)

◆ワークショップ研修

- 9月13日～15日 マスコ・新聞社 (株)東愛知新聞社 藤村正人氏、研究開発型企業 本多電子(株) 芳賀博氏、先駆的のものづくり 西島(株) 西島豊氏、製造・小売業 (株)カネ流通センター 神谷馨氏、地域金融機関 豊橋信用金庫 小宮山豊氏
- 2月22日 (株)丸金商会 取締役 竹内稔晴氏、(株)リエント楽器 専務取締役 鎌田幸伸氏、(有)MGJ・(株)Cheers 代表取締役 松尾篤氏



◆インターンシップ導入促進セミナーの開催

- 目的 受入企業側にとっても有益な事業としてインターンシップを位置づけ、導入を進めていくための研修。
- 実施概要(平成26年1月29日) 「インターンシップの目的」、「誰に何を伝えたいか」、「実際にイメージする」、「カリキュラムを考える」、「他者にアドバースする」等からワークショップ形式で実施。

【地域資源を活用した起業支援】

- 本事業を通じて認識された課題の改善方向等は以下の通りである。
- ビジネスアイデアからビジネスプランに繋げるためのプログラムの改善と支援内容の充実化
 - 事業化分野の法制度(優遇制度、補助制度等)とその認定・提出等に関する支援の充実
 - 異なる分野に興味や技術を持つ企業・人材の交流機会の創出促進
 - 産業支援機関自らが対症療法的な支援から先導的なプログラム開発型への転換

【長期的インターンシップ】

- 本事業を通じて認識された課題の改善方向等は以下の通りである。
- インターンシップに対する企業意識の変革と学生・企業の双方がメリットに繋がるプログラム開発の支援と受入企業開拓・啓発セミナーの促進
 - ものづくりの楽しさを体感・刺激を受けられるようなプログラム開発
 - 郊外の企業と公共交通機関の連携によるインターンシップ生の移動支援方法の開発
 - 多くの学生がインターンシップに参加できるような仕組みの整備(インターンシップ型アルバイトの導入等)